



神奈川県
厚木市遊技場組合
藤沢遊技場組合
茅ヶ崎遊技場組合

『「みんなヒーロー小5の輪!」推進活動』事業



厚木市遊技場組合
組合長
熊坂 武さん



藤沢遊技場組合
組合長
関根 晋さん



茅ヶ崎遊技場組合
組合長
高山裕幸さん



小学5年生を主体とした大会は珍しく、参加した子どもたちにとっては貴重な体験となる

サッカー大会の開催を通じて
組合の垣根を越えた地域貢献

小学5年生を対象にしたサッカー大会を企画

日ごろから地域貢献に力を入れている神奈川県の厚木市遊技場組合・藤沢遊技場組合・茅ヶ崎遊技場組合の3つの支部組合(以下、3組合)は、地域の将来を担う子ども同士が触れ合える機会を提供することで、青少年の健全育成に寄与したいと考えていた。厚木市遊技場組合と親交があり、「スポーツ(サッカー)を通じて地域振興を」という強い信念を持つサッカー指導者、李国秀氏(元ヴェルディ川崎[現、東京ヴェルディ]総監督)の協力を得て、3組合は2010年から毎年、2月前半に2日間の日程で「遊技場プレゼンツ『李国秀カップ』小学5年生フットサル大会」を特別協賛という立場で開催している。

少年・少女が参加するサッカー大会は日本各地で開かれているが、そうした大会のほとんどは小学校高学年と低学年にカテゴライズされていることが多い。高学年の場合、どうしても6年生が主体になりがちで、5年生の多くは試合経験や活躍する場が少ない状態にある。このことを李氏から聞かされた3組合が、小学5年生を対象にした大会を企画したもので、3組合の地元や近隣エリアのチームが参加し、初日に予選リーグ、2日目に順位決定リーグが行われる。

3組合の担当者によれば、「参加した選手はもちろんのこと、参加者のご家族やチーム関係者、学校関係者から、『5年生の子どもたちが活躍できるよい機会をつくっていただき、ありがとうございます。子どもたちも楽しみにしていました』という感謝の声を毎回、いただいています」とのこと。また、行政や3市の関係機関は、遊技業の地区組合が協力して大会を協賛・運営していることに対して、高く評価しているという。

小5の輪づくりが支部組合の輪づくりに!

3組合の担当者は、「小学5年生の大会であるということは、翌年には参加できない。だからこそ、1回1回、心をこめて大会を実施しています」と話す。大会当日は、組合関係者らが会場となる厚木市のエルジェイ・サッカーパー



組合関係者のボランティア活動により、子どもたちののびのびとプレー



各組合関係者も会場の整理などにボランティアとして参加



第1回から4回大会までの「李国秀カップ」のプログラム

クに早朝から集合し、会場整理、参加チームの案内などにボランティアとして参加、初戦から最後の表彰式まで精力的に動き回る。「今まで参加した大会のなかで、一番の思い出になりました」という子どもたちの声は何よりうれしいし、継続のための糧になるという。

さらに、この事業で特筆すべきことは、単に大会を開催するだけでなく、李氏がサッカー指導者に子どもとの関わり方や大人の責任や役割、地域社会への責任を説く講習会を年5回開催していることである。これについては、サッカー専門誌などからも注目されている。

支部組合が単体で社会貢献活動に取り組むケースが一般的だが、この事業は支部組合の垣根を超え、青少年の健全育成と一緒に取り組んでいるという珍しいケースだが、今後の支部組合の社会貢献活動を考えるうえで大いに参考になる事例といえるだろう。「小5の輪づくりを通じて、組合の輪が広がることを信じて、今後も活動が続けていきたい」と、3組合の担当者は語る。その言葉を裏付けるように、2013年の第4回大会からは、新たに相模原遊技場組合が協賛に加わった。